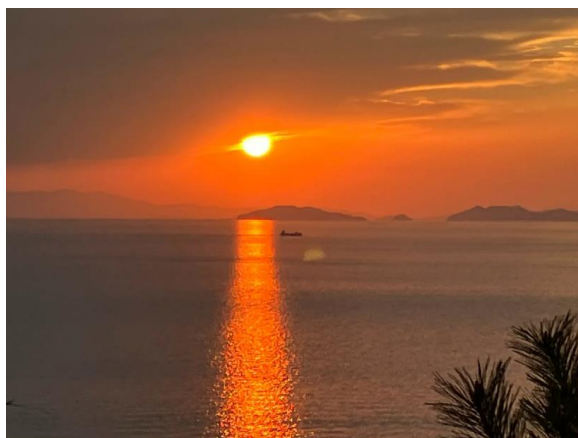


「地域生活圏」新しい地域の在り方のプロモーション映像、制作しました！

制作協力：NHK財団



ステラnet

とどけたい、つなぎたいをカタチにする。



香川県三豊市(みとよし)は、国土交通省が進めている「地域生活圏」のモデル事例。

※地域生活圏とは...

新たな国土形成計画(令和5年7月閣議決定)に位置づけられた新しい地域の在り方。人口が減少する中でも、官と民の連携などで日常的に必要なサービスを持続的に提供するエリアづくりのこと。(ジャンルは移住、人材育成、交通、空き家活用など多岐にわたる)

you tube動画はこちらのハイパーリンクから👉 <https://youtu.be/R9taRt38Ruk>

『二地域居住施策推進ブック』(第4版:令和6年7月改訂)はこちらのハイパーリンクから

👉 <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/content/001752009.pdf>



2020年に出来たシェアハウス「GATE」です。

このシェアハウスに暮らすご夫妻。2人は30代。東京と香川の「二地域居住」をされています。

のぶ 延さんはコロナの蔓延を期に会社の方針で業務がすべてリモートワークになりました。「リモートで働けるなら東京以外にも暮らせる場所があるといいよね」と2人で考え、昨年三豊に家を購入。リフォームが済むまでこのシェアハウスに暮らしています。



のぶ 左：延亜華利さん 右：黒澤剛さん

黒澤さんは企業の法務の仕事をしていましたが、二地域居住を期に独立に向け準備をしています。

「私にとっては時間にせかされない地方の暮らしも大切だし、都会の最新の情報にも触れていたいので、東京での拠点も残してます」と延さん。

「二人にとってより豊かな生活につながると、二地域の暮らしを選択しました」と黒澤さん。

※ステラnet記事はこちら👉 <https://steranet.jp/articles/-/2811>

「東北圏のみらい」の提言、活躍する若者世代の公開座談会を開催しました！

東北圏

- 東北圏広域地方計画推進室では、今後概ね10年間を計画期間とした第三次東北圏広域地方計画策定に向け、東北圏の将来像を描くため、若者世代の公開座談会を開催しました。
- 座談会では、東北圏7県（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・新潟）で活躍されている各分野の若者世代の方々から、これからの東北圏のあるべき姿や将来像等について活発な意見交換が行われました。
- 座談会の意見を踏まえ、東北圏の将来像を描き、第三次東北圏広域地方計画の内容の検討を進めてまいります。

開催概要

〈 <https://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/zadankai/2024zadankai.html> 〉

＜日 時＞ 令和6年3月18日（月）14：00～16：00
 ＜場 所＞ 侍屋敷 大松沢家（岩手県胆沢郡金ケ崎町）

＜参加者＞（コーディネーター）
 石井 重成（青森大学社会学部 准教授）

（パネリスト）

- 青森県 安藤 巖乙（十和田奥入瀬観光機構地域観光マネジメント部長）
- 岩手県 深津 咲奈（北上巣箱代表）
- 宮城県 渡邊 享子（(株)巻組代表）
- 秋田県 松橋 拓郎（(株)大瀧村松橋ファーム代表取締役）
- 山形県 伊東 優（ツキノワ合同庁舎代表社員）
- 福島県 小林 奈保子（任意団体なみとも代表）
- 新潟県 長野 美鳳（デザイナー×キッチンカー運営）

＜プログラム＞

- 開会挨拶（東北圏広域地方計画推進室長）
- 話題提供（国土政策局 広域地方政策課）
- パネルディスカッション
 （テーマ1）東北圏の魅力と課題
 （テーマ2）わたしと東北圏の未来

＜後 援＞

岩手県、金ケ崎町、（一社）東北経済連合会



▲コーディネーター
石井准教授



▲会場の侍屋敷 大松沢家
（重要伝統的建造物群保存地区内）



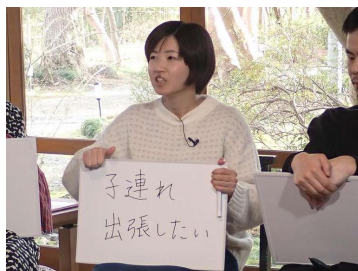
▲座談会の様子（フリップトークを行いました）



▲安藤氏
（雪は課題であり魅力）



▲伊東氏
（便利過ぎない東北に魅力を感じて）



▲小林氏
（2024年には子連れ出張をしたい）



▲渡邊氏
（人の少なさも東北圏の魅力の一つ）



▲深津氏
（東北の魅力をもつて将来を描く）



▲松橋氏
（未来の自分からのメッセージ）



▲長野氏
（土地に根ざした二地域居住の魅力）

新たな首都圏広域地方計画シンポジウム

主催：首都圏広域地方計画推進室
国土交通省関東地方整備局・関東運輸局

～危機感の国民的共有に基礎を置き 日本と地球の重要課題に果敢に立ち向かおう～

継続教育プログラム(CPD):建設コンサルタツ協会の認定
プログラム番号:202407300003

日時 **2024年8月30日(金)**

13時00分～15時15分(開場12時30分～)

場所 **ベルサール九段**

東京都千代田区九段北一丁目8-10

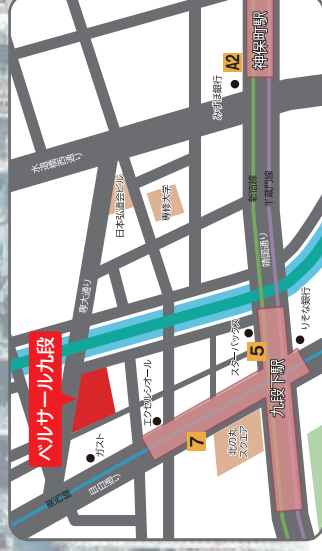
3階イベントホール

参加
無料

会場100名(先着)

※定員に達した場合、WEBにご案内いたします

WEB(Zoomウェビナー)800名



WEBマップは
こちら▼



九段下駅7番出口徒歩2分(東西線)
九段下駅15番出口徒歩3分(半蔵門線・新宿線)
[神保町]A2出口徒歩6分(半蔵門線・新宿線・三田線)
[水道橋]西口徒歩8分(有線)
[飯田橋]西口徒歩9分(有線)
[飯田橋]東口徒歩10分(有線)

首都圏広域地方計画推進室(国土交通省関東地方整備局・関東運輸局)では、2050年、さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間の将来を見据えた首都圏の国土形成の方針及び目標等を示す「新たな首都圏広域地方計画」の策定に向けた検討を行っています。

この新たな首都圏広域地方計画の策定に向けて、首都圏のかかえる危機及び今後進めていく取り組みの方向性について、女性や若手起業家など各方面の有識者や次世代を担う皆様と一緒に考えるシンポジウムを開催します。

開会挨拶

国土交通省関東地方整備局 局長

岩崎 福久

話題提供

政策研究大学院大学 特別教授
首都圏広域地方計画に関する有識者懇談会 座長

家田 仁 氏

東京商工会議所 副会頭・首都圏問題委員長

野本 弘文 氏

パネルディスカッション

コーディネーター

家田 仁 氏

話題提供

国土交通省関東地方整備局 企画部長

渡邊 良一

パネリスト

東京工業大学環境・社会理工学院 教授
首都圏広域地方計画に関する有識者懇談会 委員

真田 純子 氏

一般社団法人グロウイングクラウド 代表理事

三部 香奈 氏

WOTA株式会社 代表取締役 兼 CEO

前田 瑤介 氏

休日子育てシェアハウス山ん家 代表

矢島 麻優美 氏

お申し込み・お問い合わせ

下記URLもしくは二次元コードよりお申し込み
ください。
※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

<https://forms.office.com/r/VtkM9ebG8t>



お問い合わせ先

フォームでの回答が難しい場合、下記の間合せ
先(Eメール)までご連絡ください。

shutoken-2024symposium@fukuyamaconsul.co.jp

ご意見を募集しています

新たな首都圏広域地方計画の策定に向け、皆様のご意見を募集しています。是非ともご協力をお願いします。

アンケートフォームは下記URLまたは右の
二次元コードからアクセスしてください。

<https://forms.office.com/r/8fq5Pxy49>

※iOSの場合は標準の二次元コードリーダーではなく、カメラアプリがその他アプリで読取ください



話題提供



政策研究大学院大学
特別教授
首都圏広域地方計画に関する
有識者懇談会 座長

いえだ ひとし
家田 仁 氏

東京都出身。
1978年に東京大学工学部土木工学科卒業後、日本国有鉄道入社。
1995年に東京大学工学部研究科教授。
2014年より政策研究大学院大学と兼任、2016年より政策研究大学専任。
2021年より政策研究大学院大学特別教授、現在に至る。
国土交通省・社会資本整備審議会、交通政策審議会、国土審議会などに参画。
第108代土木学会会長を歴任。専門分野は交通、都市・国土学など。



東京商工会議所
副会頭・首都圏問題委員長

のもと ひろふみ
野本 弘文 氏

1947年福岡県生まれ。
1971年早稲田大学理工学部卒業。東京急行電鉄(現:東急)入社。住宅開発、リゾート開発、メディア事業に携わる。
2004年イット・コミュニケーションズ取締役社長。
2007年東京急行電鉄取締役、開発事業本部長。
2011年同社代表取締役社長。2018年同社代表取締役会長、現在に至る。
同任、東京商工会議所副会頭・首都圏問題委員長、現在に至る。
他、日本民営鉄道協会会長、日本小売業協会会長(現任)を歴任。

パネルディスカッション

コーディネーター

政策研究大学院大学 特別教授
首都圏広域地方計画に関する有識者懇談会 座長

いえだ ひとし
家田 仁 氏

話題提供

国土交通省関東地方整備局 企画部長

わたなべ りょういち
渡邊 良一

パネリスト



東京工業大学環境・社会理工学院 教授
首都圏広域地方計画に関する有識者懇談会 委員

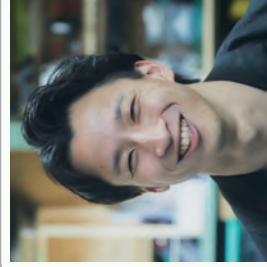
さなだ じゅんこ
真田 純子 氏

広島県福山市出身。
2005年東京工業大学社会理工学研究科を修了。博士(工)取得。
2007年徳島大学大学院シオテクノサイエンス研究部助教、2015年ベネチア建築大学客員研究員、2015年東京工業大学准教授を経て2023年より現職。
徳島大学着任後に石積みを修行し、一般社団法人石積み学校を設立。同法人代表理事。また、農村風景から都市と農村のあり方を研究中。主な著書に「誰でもできる石積み入門」(風景をつくるこぼん)ともに農文協がある。

一般社団法人グロウイングクラウド 代表理事

さんべ かな
三部 香奈 氏

福島県須賀川市出身。東京女子大学英米文学科卒業。
福島民友新聞社で社会部、スポーツ、政治経済記者などを歴任。
結婚を機に会社事務所に転職し、広報やセミナー企画等を担当。
2011年の東日本大震災をきっかけに、地域課題を解決するための起業家支援を行う一般社団法人を設立し、コミュニケーションマネージャーとして、コワーキングスペースの運営や人材育成のための場づくりに取り組んでいる。
自分自身の子育てと仕事の両立経験をもとに、多様な働き方を認める企業風土の必要性を感じ「ケイリーパートナーズ」を設立。2021年度第20回女性起業家大賞「特別賞(グロース部門)」受賞。第7回心くしま産業賞「福島民報社奨励賞」受賞(ケイリーパートナーズ)。郡山市民協会のまちづくり推進協議会 市民活動推進顕彰事業専門部長の他、地域課題解決に取り組む様々な団体で幹事を務める。



WOTA株式会社 代表取締役 兼 CEO

まえだ ようすけ
前田 瑤介 氏

徳島県出身。
東京大学工学部建築学科卒業、同大学院工学系研究科建築学専攻(修士課程)修了。
小学生の頃から生物学研究を開始し、中学生で水問題に関心を持ったことをきっかけに、高校時代に水処理の研究を実施。大学では都市インフラや途上国スラムの生活環境を、大学院では住宅設備(給排水衛生設備)を研究。
ほか、デジタルアート等のセンサー開発・制御開発に従事。
WOTA CEOとして、水問題の構造的解決を目指す。

休日子育てシエアハウス山ん家 代表
やじま あゆみ
矢島 麻優美 氏



埼玉県川越市出身。
2006年津田塾大学卒業。
(株)リクルートHRマーグディングに勤務。
2009年に退職後、夫のホテル業の事業継承の為、長野県白樺湖に移住。
2男1女の育児をしながら、ホテルで勤務。観光地の休日の託児に課題を感じ山ん家立ち上げ。
夢光観光事業向け「女性活躍」支援策事業化協議会事務局、ちかくの旅の見本市実行委員会委員を務め、観光地域での女性活躍、女性目線の発信のプロジェクトに従事。
山間地域の子ども達向けに学研教室を開室中。